



霜月の献立より、〈右〉旨み出汁のジュレで和えた貝柱を柿釜盛りに、むかごや青のりの真丈、鰯の山椒漬けと焼栗のワイン煮、才巻海老の味噌掛け、蓮根の挟み揚げなど目に美しい前菜。〈左〉鮑の酒蒸しと茸の蒸しもの。ほろ苦い肝味噌のたれをかけていただく。



露天風呂に古代檜風呂、リニューアルした数寄屋の宿

福島県・福島市の西部に位置し、福島西ICからは車で20分ほどの距離にある土湯温泉。神代の時代から湧き出ているとされる、とりととした肌に優しい湯には病氣平癒などの効果があるとされ、聖徳太子ゆかりの伝説でも知られます。そんな土湯温泉街で1984年に創業し、福島県の磐梯朝日国立公園の渓谷内にある「土湯別邸 里の湯」は、手付かずの原生林に囲まれた宿。自慢の湯は、源泉掛け流しの3種のお風呂。紅葉に囲まれた溪流沿いのふたつの露天風呂に、木の香り漂う古代檜風呂、それに家族単位でゆったり利用できる半露天風呂併設の古代檜風呂など、すべて宿泊者が貸

土湯別邸 里の湯

「福島・土湯温泉」

里の空気と黄葉を満喫しながら
独り占めする天然温泉

撮影 高嶋佳代

リスやカモシカが棲む
原生林の中の露天風呂



杉木立の中の階段を下ると原生林に囲まれた大小の露天風呂が。こちらは小さいほうの湯船で、すぐ下から溪流のせせらぎが聞こえる。

し切りで入浴できるようにオペレーションされています。とりわけ、秋の深まりごとに木々が黄葉する時季、リスやカモシカも顔を出すような大自然に囲まれて露天風呂を楽しむのは非日常の開放感。部屋はリニューアルが完了したばかり。数寄屋建築の美意識で整えられた客室は2間続きの和室が5室、ベッドで休める和モダンの部屋が3室、そしてファミリーで宿泊可能な離れが1棟。一日に受け入れる最大ゲスト数は9組で、どの部屋にも源泉から引いた古代檜風呂があり、敷地内に点在するすべての湯を、混み合うことなく満喫できる工夫もされています。

温泉に加えての楽しみは、お部屋でいただく懐石料理。料理長・佐藤道晴さんによる季節の食材を使った献立は、鮑や紅葉鯛、あおり烏賊など新鮮な魚介から福島県産黒毛和牛を使った焼き物まで全11品、ゆつたりと味わうことができます。到着した瞬間から、都会の喧噪を忘れ、木立を渡る風や、紅葉と鳥のさえずりに包まれる休日を感じてみませんか。



土湯別邸 里の湯

福島県福島市土湯温泉町悪戸尻27-2 tel.024-595-2146
⑥火・水曜 源泉掛け流しの貸し切り温泉を楽しむスタンダードプランー泊2食付き2名利用の1名料金38,000円～(サ別) IN 14時 OUT 10時30分(客室数9室)

紅葉情報

例年10月中旬以降から木々が次第に黄葉し始め、空気が澄んでくる。イタヤカエデが赤く、ではなく黄色く色づくのは東北ならではの。



6畳と8畳、2間続きの部屋にセミダブルベッド2台がしつらえられた和モダンのスイート。ゆっくりとつるつる落ち着いた客室。



フロント近くには、冷えたビールやアイスなど、フリードリンク＆フードのラウンジスペースが。朝の時間やお風呂上がりに自由に過ごせる。